



勝光寺ホームページ

勝光

令和6年11月号
庄原市三日市町
276-3
浄土真宗本願寺派
勝光寺
Tel 0824-72-0552
Fax 0824-72-0910

報恩講のお仏壇参りを始めます

ご門徒様のお宅に伺ってお仏壇にお参りする「報恩講参り」を1月から始めます。

報恩講のお仏壇参りは「正信念仏偈」をお参りします。お盆より長いお経です。一日にお参りする軒数も限られてきます。1月から1月までの3ヶ月をかけてお参りいたします。お葉書をお送りしますので、ご返信をお願い致します。



全戦争犠牲者追弔法要

「平和の集い」

前回の「勝光寺報」でもお知らせしたとおり、「備後教区平和の集い」が備後教務所主催で開催されます。

- 会場 庄原市民会館
- 日時 10月31日(木)午後1時開演
- 参加費 事前に申し込んでいただいた方は護持会で負担。

当日参加者は千円お支払いください。



沖田先生のご指導の
合唱練習風景

初参式にお参り くださいました

10月20日(日)

本堂で初参式をお勤めしました。

お父さん・お母さん・お兄ちゃん・おばあちゃんに付き添われ

佐々木瑛大くん
佐々木 遙ちゃん

お二人のお参りをお祝いしました。

仏教婦人会主催で、毎年初参式をお勤めしています。

十一月十日(日)

勝光寺報恩講

浄土真宗は、阿弥陀あみださまのあらゆる人びとを救うはたらきによって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩むという御教えです。この真実のみ教えをお示しくくださった親鸞聖人に感謝し、阿弥陀さまのお救いをあらためて心に深く味わわせていただくご法要が、「報恩講」です。

ぜひ、ご家族や有縁の皆さまといっしょにお参りし、ご家庭でも「報恩講」をお勤めいたしますよう。そして、親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀さまのはたらきに感謝して、浄土真宗との出遇であいを深めてまいりましょう。

報恩講「お取り越し」法座

朝九時半 昼十三時
講師 佐藤知水 師

日野誕生院



『御齋(昼食)』の弁当注文についてのご案内
朝席・昼席を通してお聴聞していただける方には昼食の仕出し弁当を用意します。五〇〇円をご負担ください。
御齋を召し上がっていただけの方は、準備の都合上、十一月三日までに勝光寺までご連絡ください。

京都市伏見区にある誕生院は、親鸞聖人が誕生され、幼年期を過ごされたゆかりの地です。
境内には産湯の井戸・へその緒を収めた「へそ塚」などがあります。

見えなくてもつながっているから あたたかい

お釈迦様は、八十歳の生涯を送られました。お釈迦様は命が終わろうとするとき、お弟子様に言われました。「私の命はもう長くないであろう。みんなの中で、最後にこれだけは聞いておきたいということはないですか。」

しかし、駆けつけた人たちは誰も手を上げませんでした。命を終えようとするお釈迦様に遠慮してしまつたのです。その結果、直接お話を聞くチャンスを失つてしまつたのです。遠慮する必要は無かつたのです。

先人達はアミダ様を「親さま」といだけられました。アミダ様の願いは見返りを求めません。心配すること、一緒に歩むことがアミダ様にとって喜びだからです。お互いさまだからです。

「助ける」や「親切にする」などは、「助けられる人」「親切にされる人」がいて初めて成立します。受け手がいるからこそ、「助ける」「親切にする」ことができるのです。

「お互いさま」という言葉ですが、助けてもらう方が「お互いさまですからね」というと少し違和感を感じるかもしれません。しかし、本来は「お『互い』さま」なので、どちらから言ってもいい言葉なのだそう。助けようとして、助けることができ初めて、助ける人もうれしいし、助けられた人もうれしいのです。

贈り物を贈ったとき、お返しをもらったからうれしいのではなく、「受け取ってくれてありがとう」なのです。それが「お互いさま」なのです。

アミダさまは、この子とこの子は違うという境界線がありません。

勝光寺仏教壮年会 秋季研修会

11月16日(土)お聴聞とイ
タリアン精進料理を味わうツアー

勝光寺仏教壮年会の秋季研修会として北広島町の浄謙寺を訪問し、お聴聞とイタリアン精進料理をいただくツアーを実施します。

境内清掃奉仕

12月8日(日)

午前8時から

築山の落ち葉の処理を中心に掃除をします。手伝ってやろうという方、大歓迎です。

除夜の鐘撞き・修正会

1月3日(日)

午後1時半頃から厳肅な雰囲気の中、除夜の鐘撞きとお勤めを行います。

仏教婦人会

リフレミットの会

11月14日(木)

午前10時～11時

勝光寺本堂

勝光寺仏教婦人会主催のリフレミットの会を開催します。

今回に限り木曜日の開催となっておりますので、お間違えのないようにご参加ください。

講師 石井克子 先生

比婆組若婦人研修会

10月19日(土) 妙延寺

「比婆組」主催の研修会が開かれました。

各寺院から4名ずつ、仏教婦人会の会員さんが参加し、研鑽を深めました。



全ての命を我が子として願われているから、「親さま」なのです。見えなくてもいつもつながっています。つながっているから温かい気持ちになれるのです。

この温かい気持ちを、まずは身近な人へ、そして友達へと、見返りを求めるのではなく、大切な喜びがあることに気づける。そんな私になりたいと思うのです。



2024年
11月10日 9:30
13:00

新米の御奉納

今年も新米の御奉納をいただきました。このお鉢は、報恩講法座から、お仏飯としてお供えさせていただきます。

